



レイニー
シーズ
ン

バタ
フライ

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

春の終わりを
日に日に増える
雨の回数が増えてくれー

雨の匂いも春の空気と
馴染み始め梅雨の訪れを
感じさせていたー

そんな時だ

俺が1人の少女と
出会ったのはー

あんたその
鎮守府の人だろ？

いいよ
入れてあげる

……
あんた傘
ないのか

あ
ああ……

アアアア……

これが—

彼女との出会いだった—

レイ
ニー
ミズ
ハタ
フライ



それから朝
鎮守府に向かう俺の前に
よく現れるようになった！

あれ？
またいる

と言っても
他愛のない話をするだけで
単調な鎮守府生活を送る俺に
1つの楽しみが出来た

よく散歩してから
鎮守府に行くのか？

その程度に
思っていた

ああ
雨が好きで…
梅雨の時期は特に

雨か
あたしも
好きなんだ

何をしているのかは知らない

あたしの名前？
別にいいだろ？

名前を聞いてもー

と言って
教えてくれなかった

まあ：名前を
知ったところで
朝会って話すだけの仲だ
特になんとも思わない

はずだった

14…
15!

一昨日よりも増えてる！
あじさいの花！

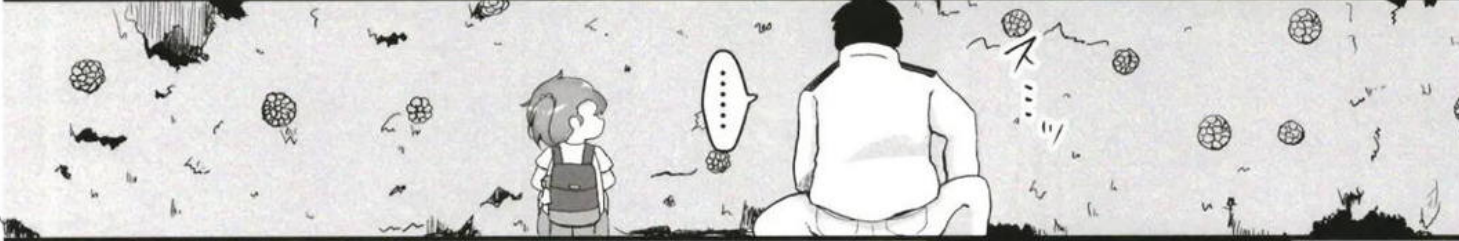
あ！
見てみる！
ちようちよだ！

お
ほんとだ



大丈夫か?

梅雨の時期で大変だろ?



雨だと羽が濡れちゃうもんな

気をつけるんだぞ



なあ
マダラ蝶って
知ってるか?
こいつも
そうなのかな?

マダラ蝶?

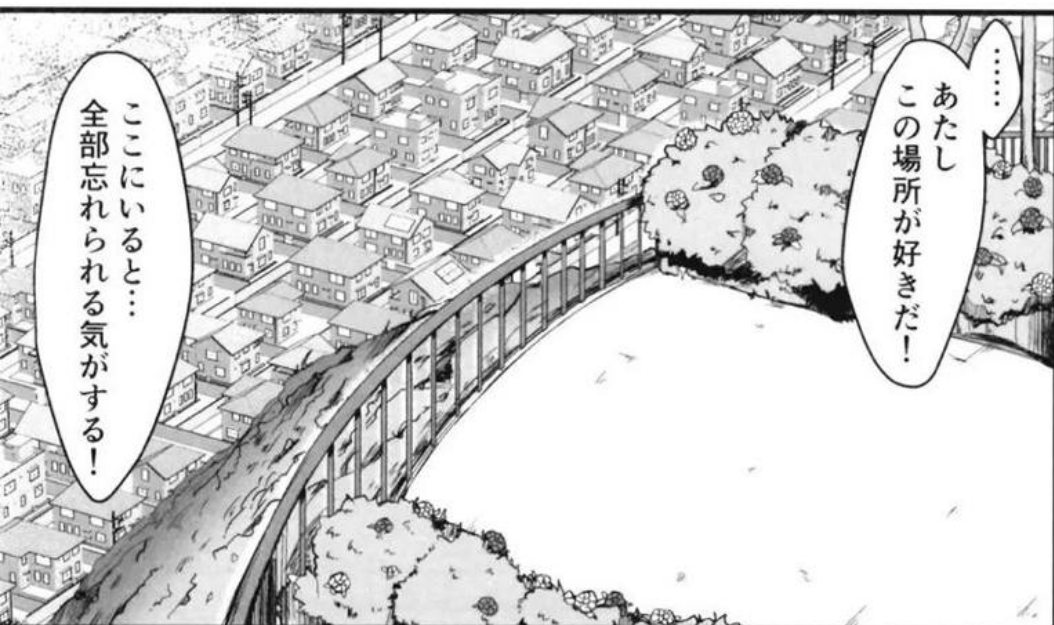


……っ

日本で唯一
海を渡る蝶なんだ！

夏は南から北へ
秋から冬にかけては
北から南へ

すごいだろ！



あんたと話してるときも

そんな気がするんだ

それは今までの
彼女が見せた
ことのない笑顔で

それでいて
どこか寂しげな
ようにも見えた

ふう…
急に降ってきたな…

予報だと
降らなかったのにな…

通り雨だろう
ここなら屋根が重なって
濡れないし
止むまで待とう

そうだな



どうしても分からない



彼女の透き通った肌に：
か細い体に：
さっきのどこか寂しげだった笑顔を
重ね合わせた瞬間

たまらなく悲しくなり…

それを埋めるかのように
お互いキスをした…



ふはっ…



ホッ



じゃあさ…

私を…

大人にしてくれ…

え!!



なあ…君
何かあったんだろう…？

俺でよかったら…
力になりたいんだ…

だめか？

……！



だからこそ
断ることなど
出来なかった

わかった

……

俺に身を任せることで
それを忘れようと
してるのだろうかー







痛かったら
言うんだぞ…!!

そうか…!!



いじよ…

あたしはもうあんたのもんだ…
大丈夫だぞ

はぁ…



んっ…
少し苦しいけど…
大丈夫だ…

くっ…
さすがにきついが…
入ったぞ…



でもこの分なら奥まで
入れても大丈夫そうだ…!!



ゆっくり動くからな…

はっ

あっ

なんかすごい…

熱くて…
気持ちいい…

俺もだ…
キツくてすぐ
イってしまいそうだ…

はぁ

はぁ

はぁ



しゅご……♡
今の……もっと……!

あ♡
あんた……♡

ああ……
待ってる……!



びくびく

ソクソク



これっ♡
だめっ♡……っだ♡

あっ♡
ビクビク

ほらっ
これなら奥まで
たくさん届くぞ……!

きゃん



これからも俺でよかったら
いつでも力になってやるからな!

うん♡

だから安心するんだぞ!

うん♡

射精るぞ!!

ジュルジュル



…とんだ雨宿りに
なってしまったな

ふう…

チュン
チュン

ホタッ
ホタッ…



名前…
教えてくれないか…?

最後に…

まっまっしてくれ…!



あんたもそろそろ
鎮守府に行く時間だろう?

また…会おうな



にこっ



福江っ!

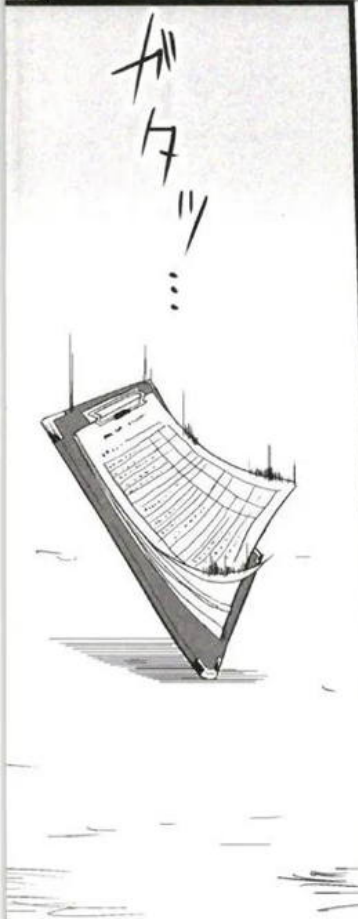
その後しばらく
福江は姿を
現さなかった

こうして俺は
福江と一線を
越えたのだが





あっ……



カタッ……



……



ふ
福江……？

どうしてここに……？



あたし……
物資の輸送任務で
度々他の鎮守府から
ここに来てるんだ……

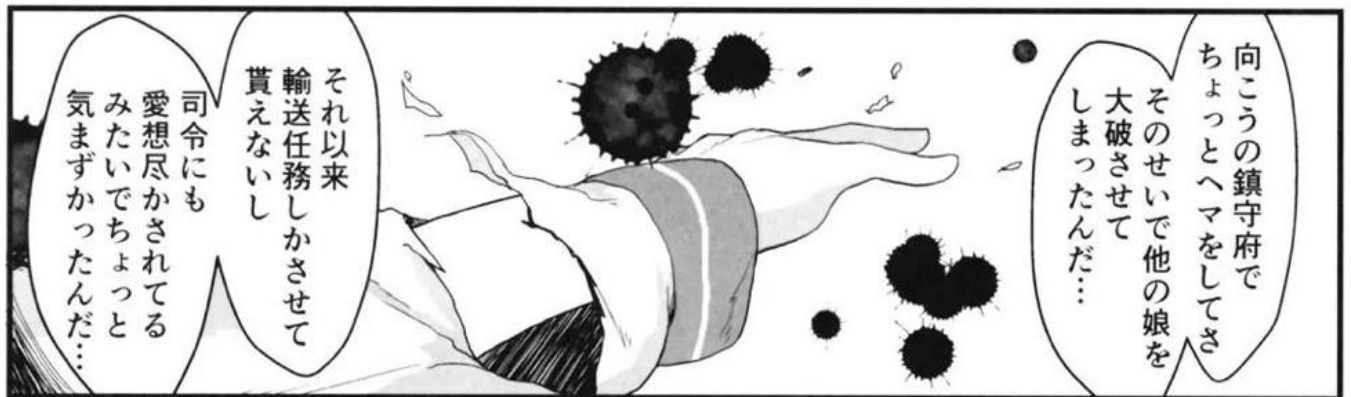
あんたとしょっちゅう
会ったのもその合間
だったんだ……



……
あたし……

なんで……
黙ってたんだ……?

お……
おいおい……



向こうの鎮守府で
ちよっとへまをしてさ
そのせいで他の娘を
大破させて
しまったんだ……

それ以来
輸送任務しかさせて
貰えないし
司令にも
愛想尽かされてる
みたいでちよっと
気まづかったんだ……



あんたは違っ……

でも……

……だから……
ここの鎮守府も
ちよっと警戒してたんだ



俺ひとりの力じゃ
福江をどうにもできない
事なんてわかってる

あゝ

あゝ

もっと…奥まで

あゝ

あゝ

あんたを感じたい…

それを福江も
分かっていただろう

あゝ

ふっ福江…

やばい…
もう射精そう…

ぐあっ…

福江…

ダメだ…射精る…!!

あゝ

あゝ

おおっ…

あゝ

んん

んん

んん

あゝ

あゝ



もしこの状況を解決できる術があるとするならー

俺はまだそれを知らない

福江…
好きだし…

し…し…
丸…丸…

あた…まし
しも…

好き…
た…

福江…

ぬる…

今はただー



その悔しさや
苦しさを忘れるかのようにー







……



なあ福江……
このまま
この鎮守府に……



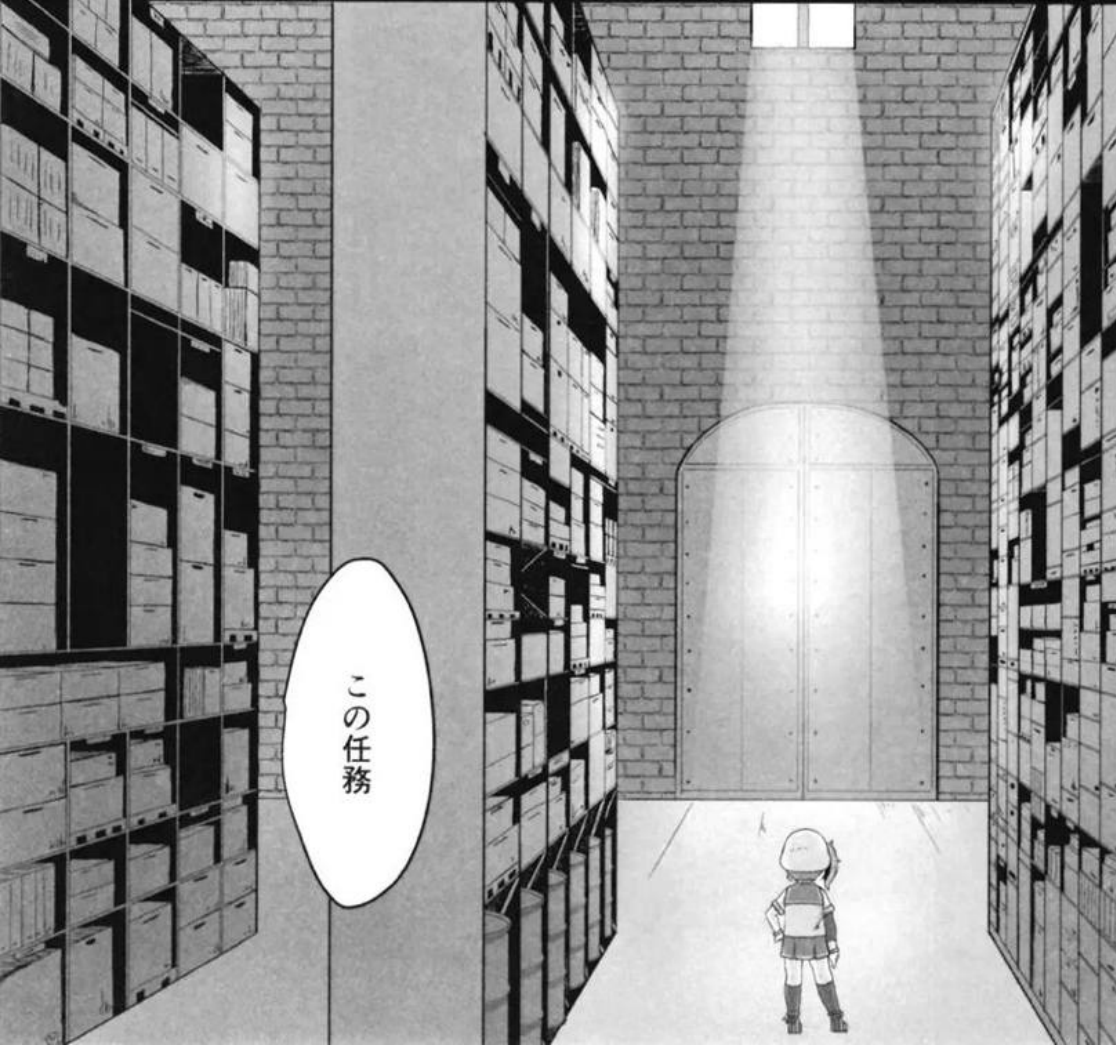
えっ

……残念だが
それは無理だ



……

ありがとう
少し楽になれたよ



この任務



今回でもう
終わりなんだ



そんなの

俺のためでいい

また別の任務で
ここに来るかも
知れないだろ？

それまで…
俺はずっと待ってるから…

ありがとう…

……

これって…

あたしのリュックに
付けてるてる坊主と
同じものだ

これなら離れていても
いつでも一緒だからな…

…これを…
あんたにやるよ

福江…



…じやあな

あんたが

あたしの司令だったら
よかったのに



俺はあの時何て言えば
いいかわからなかったー

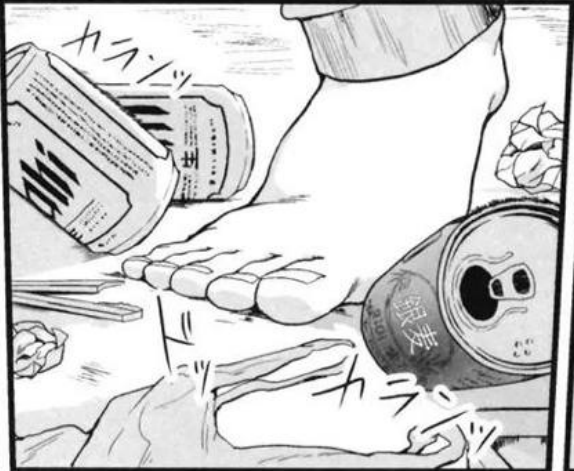
福江が最後に言った言葉に
どうしようもなく
自分の無力さを感じたからだ――

俺はその時の福江の顔を
今でも覚えている――

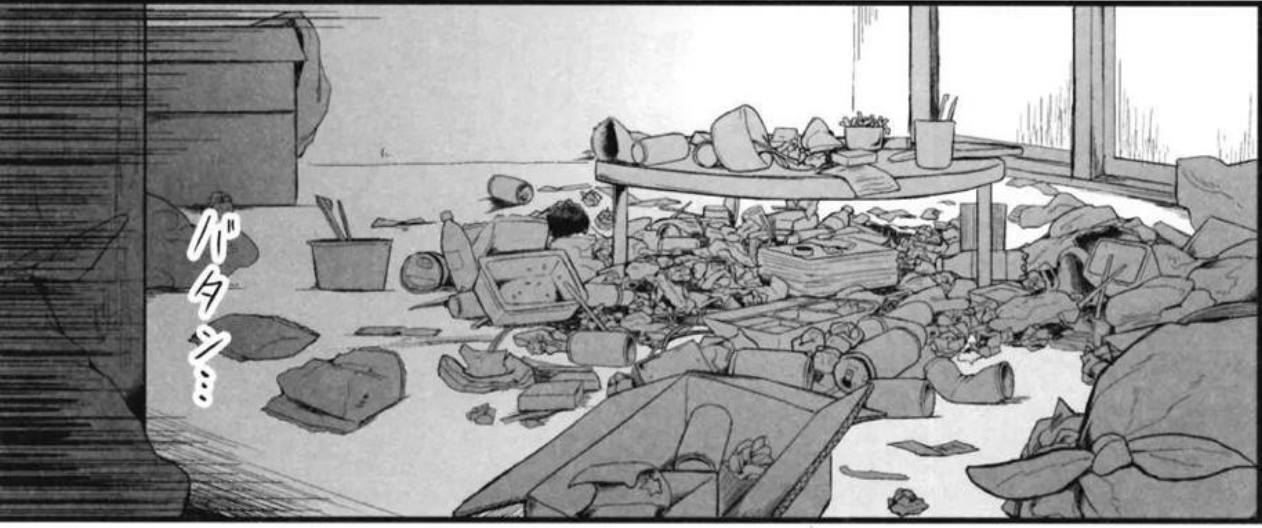


そうー

3年経った
今でもー



ハ
ハ



ハ
ハ



ずっとー
考えていたー

ただ生きていくだけー



どこかに消えて
いくんじゃないかと—



あの時いつまでも
待っていると
言った俺が—



そんな
日々が続く内に—



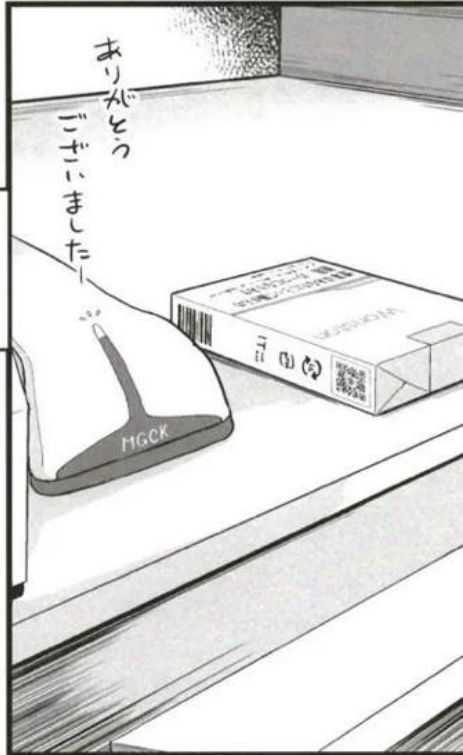
そうなのかもしれない
しれない—



クリスマスケーキ・おせち
好評ご予約受付中!

もう—

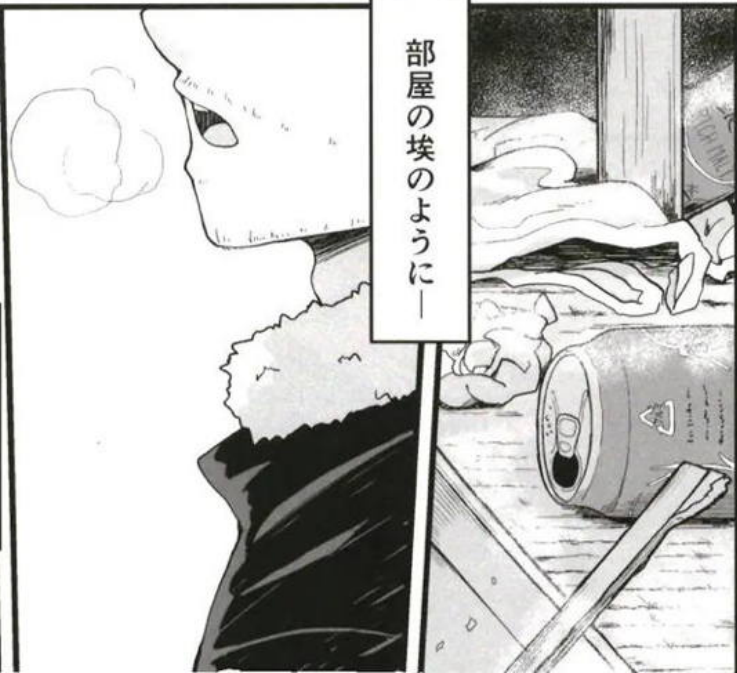
いや—



ありがとっ
ございました—



静かに
積み重なる—



部屋の埃のように—



やるせない
感情だけが—



アサギマダラ

アサギマダラ 長距離移動の神秘

アサギマダラという蝶を知っているなら「渡り」をする蝶として知られ長距離移動をする。その数多く



アサギマダラ

美しく目立つ色彩を持つものが多い—

アサギマダラは体内に有毒成分を蓄積しており鳥類から狙われることが少なく—

日本で唯一「渡り」をする蝶として知られており最長2000キロにもおよぶ長距離移動をする。



海を渡るマダラ蝶—

今ほどの海を渡っているのだろうか—

調べれば調べるほど福江と重ねてしまう



なぜだろう

オオオ...



マダラ蝶だったんだな…

毎年ここに来る蝶も

憑りつかれたように
調べたからわかる

あのマダラ蝶にはもう—

会えるはずもないのに…

ピクッ

へえ
詳しいな
調べたのか？



お…
おまえ…っ



だ…
一体だれ
あ？



もう昼過ぎなのに
まだ鎮守府に
来てないと聞いたから
ここだと思ったんだ

あたしが居なくなつてからの
あんたは酷いらしいじゃないか

向こうでも噂になってたぞ

特に最近



制服もしわくちや



常に酒臭い

タバコの量も
多い



遅刻常習犯



心配した向こうの司令が
今回の判断を下したんだ

理由はどうであれ
あんたがあたしを
連れてきたようなもんだ

心配したが…
うれしかった

ふ…
福江…

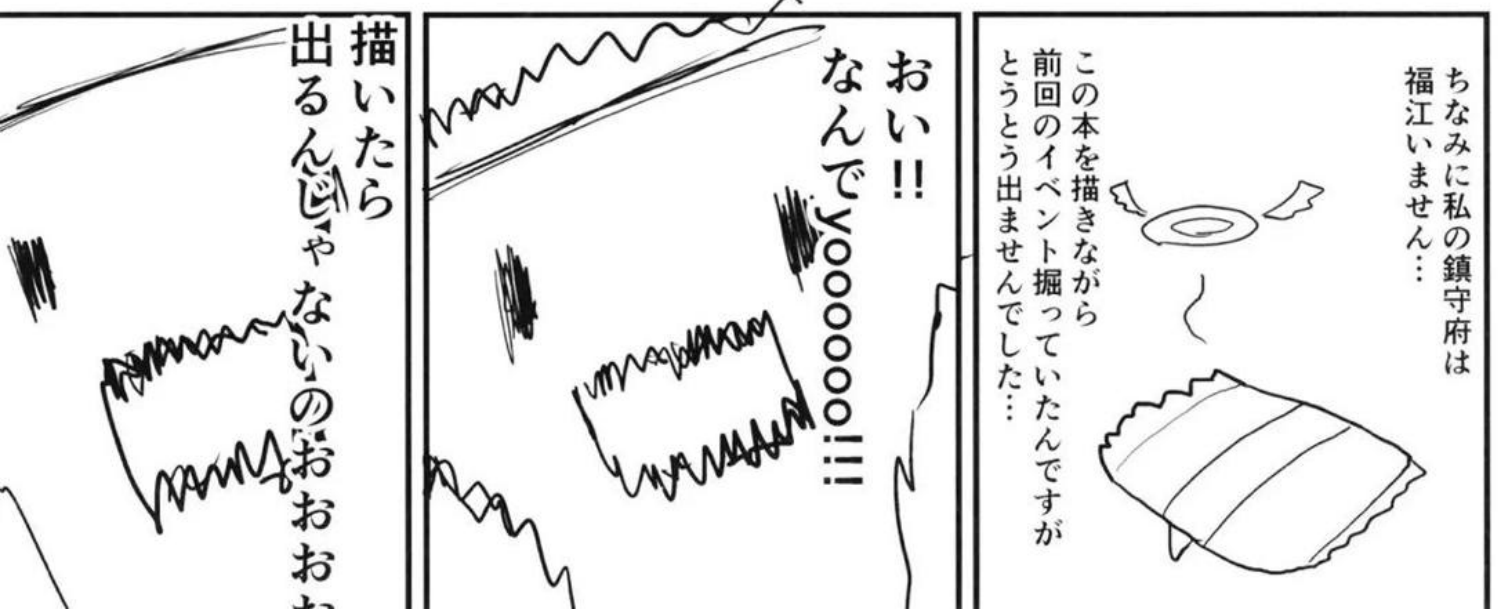
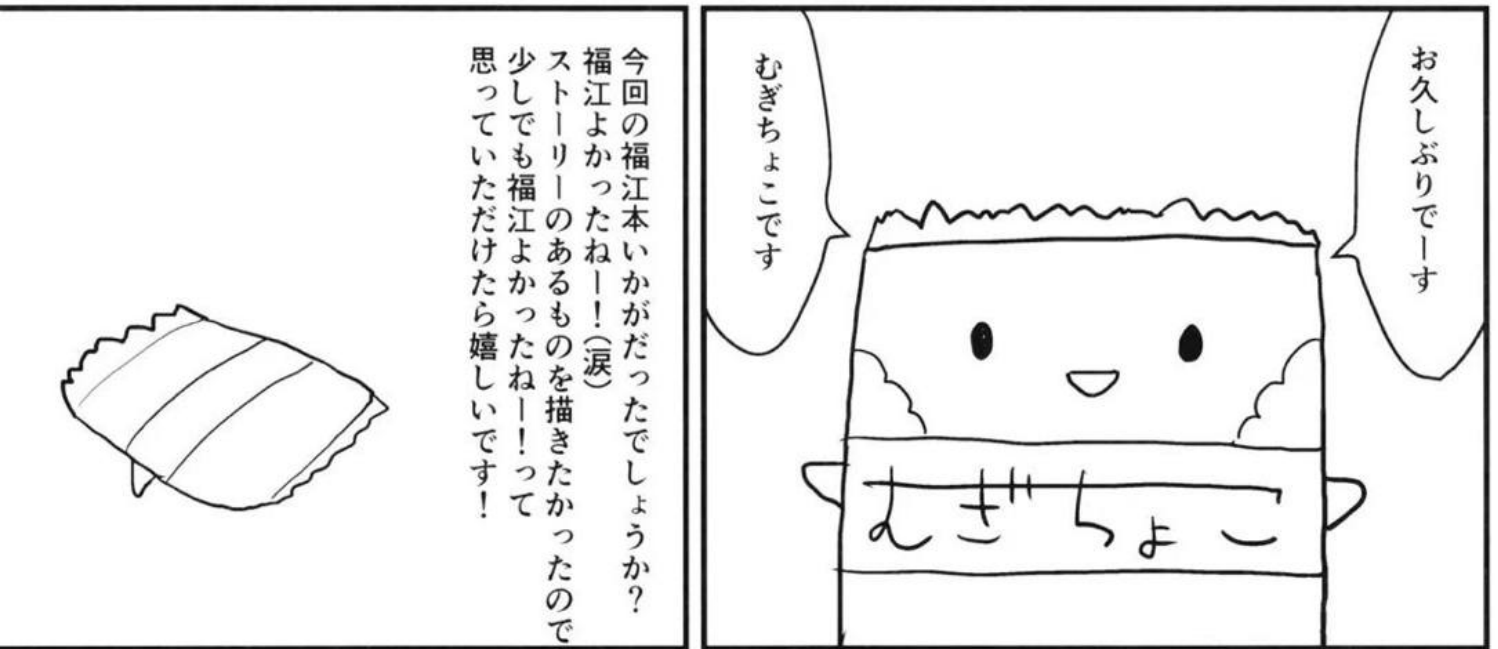
福江

着任!

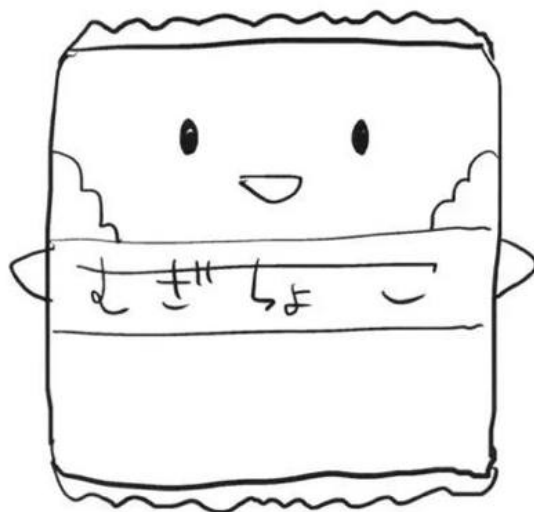
よろしく頼む
……司令!



あ と が き



今回、C98は残念ながら中止となってしまいましたが



次回のイベントで
またいつもと変わらず
本を出せたらいいなと思っています！
それまでがんばります！

レイニーシーズン・バタフライ

発行日 2020/5/3

発行 むぎちょこストア

twitter @mugichokooo

pixiv 5605258

印刷 サングループ様

